

福井県自転車活用推進計画（案）の概要

～自転車で県民イキイキ、来県者ワクワクの福井県～

1. 目的

自転車活用推進法第 10 条に基づき、本県の自転車活用の推進に関する基本計画として福井県自転車活用推進計画を策定。 計画期間：令和 2～6 年度（5 年間）

2. 現状・課題

- ①利用状況…自家用車の利用割合が高く、全国に比べて自転車の利用頻度が低い。
- ②利用環境…自転車利用を増やすため、道路環境や公共交通機関との接続、手軽に使えるシェアサイクル整備などが求められている。
- ③サイクルツーリズム…サイクリング環境の改善のため、走行空間整備や休憩拠点、ルート案内の充実が求められている。
- ④安全安心…自転車事故件数は減少傾向。継続して交通ルールの周知等を実施する必要がある。

3. 計画期間中に実施する主な施策

施策 1. 自転車利用者に優しい環境づくり

- 自転車通行空間の計画的な整備と保全
 - ・市町自転車活用推進計画の策定を推進
 - ・自転車利用の多い路線を中心に、路面表示や案内看板等の設置や補修等による安全性の確保
- 自転車と公共交通機関、商業施設等との接続強化
 - ・駅等でのレンタル・シェアサイクル整備を支援、公共交通機関と組み合わせた利用の P R
 - ・I o T 等の活用による、手軽に貸出・返却可能なシェアサイクルの利便性向上
 - ・自転車利用者に無料サービスを提供する「自転車の駅」の周知・拡大

◆指標：利用環境に対する満足度の向上（36% → 40%）
レンタル・シェアサイクル拠点の増加（69か所 → 100か所）

施策 2. 自転車と暮らすライフスタイルの推進

- 日常的な利用に向けた広報啓発
 - ・日常的な自転車利用による健康増進の広報啓発
 - ・スマートムーブ（環境に優しく賢い移動手段）として利用を広報啓発
- 自転車通勤の促進
 - ・企業に対する自転車通勤のメリット等の広報啓発
 - ・公共施設を利用したパークアンドサイクルライドの推進
 - ・「カー・セーブ運動」によるマイカー通勤から自転車通勤への転換
- サイクリングやサイクルスポーツの振興
 - ・気軽に参加できるサイクリングイベントの開催等、レクリエーションとして利用を推進
- 自転車に親しむ機会づくり
 - ・地域でのイベント開催などを行うサイクリングリーダーの養成

◆指標：週に 1 日以上自転車を利用する人の割合（39% → 45%）

施策 3. サイクルツーリズムの推進による観光振興・魅力発信

- 受入環境のさらなる整備充実
 - ・サイクリングモデルルートを嶺北・嶺南各 1 ルート設定し、計画期間中に重点的に走行環境を整備（福井・坂井・永平寺観光地周遊ルート、三方五湖周遊ルート）
 - ・北陸地域の海岸線、三方五湖と琵琶湖など近隣県のサイクリングルートと連携
 - ・観光地や景色の良い場所を走行するサイクリングルートの設定、マップ作成や H P 等による情報発信
 - ・サイクリストが安心して宿泊可能な環境を整えるなど国内外から訪れるサイクリストの受入環境整備
 - ・サイクルトレインの利用拡大と新規運行
 - ・鉄道やバス等の公共交通機関とシェアサイクルをシームレスにつなぐ観光型 M a a S の構築
- サイクリングイベントの P R 強化
 - ・観光協会等と一体となったプロモーションや H P 等による情報発信の強化

◆指標：レンタル・シェアサイクルの年間利用者（約 12,000 人 → 15,000 人）

施策 4. 自転車事故の無い安全で安心な社会の実現

- 自転車利用者に対する交通安全意識の向上
 - ・交通安全県民運動期間等に「自転車安全利用五則」など自転車の通行ルール等の周知を図る
 - ・小中学生、高校生に対する安全教室開催の推進
 - ・自転車利用者や自転車貸付業者等に対し、自転車保険への加入を促進するために必要な広報啓発を実施
- 自動車利用者に対する交通安全意識の向上
 - ・自動車と自転車とともに安全に車道を通行できるよう配慮を求めるなど、自動車運転者に対する広報啓発を実施

◆指標：自転車事故発生件数の抑制（年間 127 件 → 127 件以下）
交通安全について指導している小中学校、高校の割合（97% → 100%）

福井県サイクリングモデルルート案

国の設定の考え方

- ・路面表示や案内看板など、走行環境の整備・維持が可能
- ・ルート周辺、ルート上に観光地や景色の良い場所がある
- ・複数の市町に跨る、広域的なルート

福井県の設定の考え方

- ・週末サイクリングを楽しむサイクリング初心者や家族連れ、レンタサイクルでの周遊を行う観光客等、主に一般車やシティサイクル(県民の約8割が保有)の利用者を主なターゲットと考える。スポーツ車での走行についても、周辺の長距離ルートへの起点となる。
- ・総延長50km程度で嶺北・嶺南各1ルートを設定
- ・サイクリングルートとして一定の実績があるルートから選定



ルート案と選定理由

①三方五湖周辺・海岸線ルート (約30km)

- ・湖周を一周でき、「自転車の駅」など休憩拠点も充実
- ・三方五湖周辺サイクリングルート検討会など地元機運の高まり

②福井・坂井・永平寺観光地周遊ルート (約56km)

○福井駅～永平寺 約26km

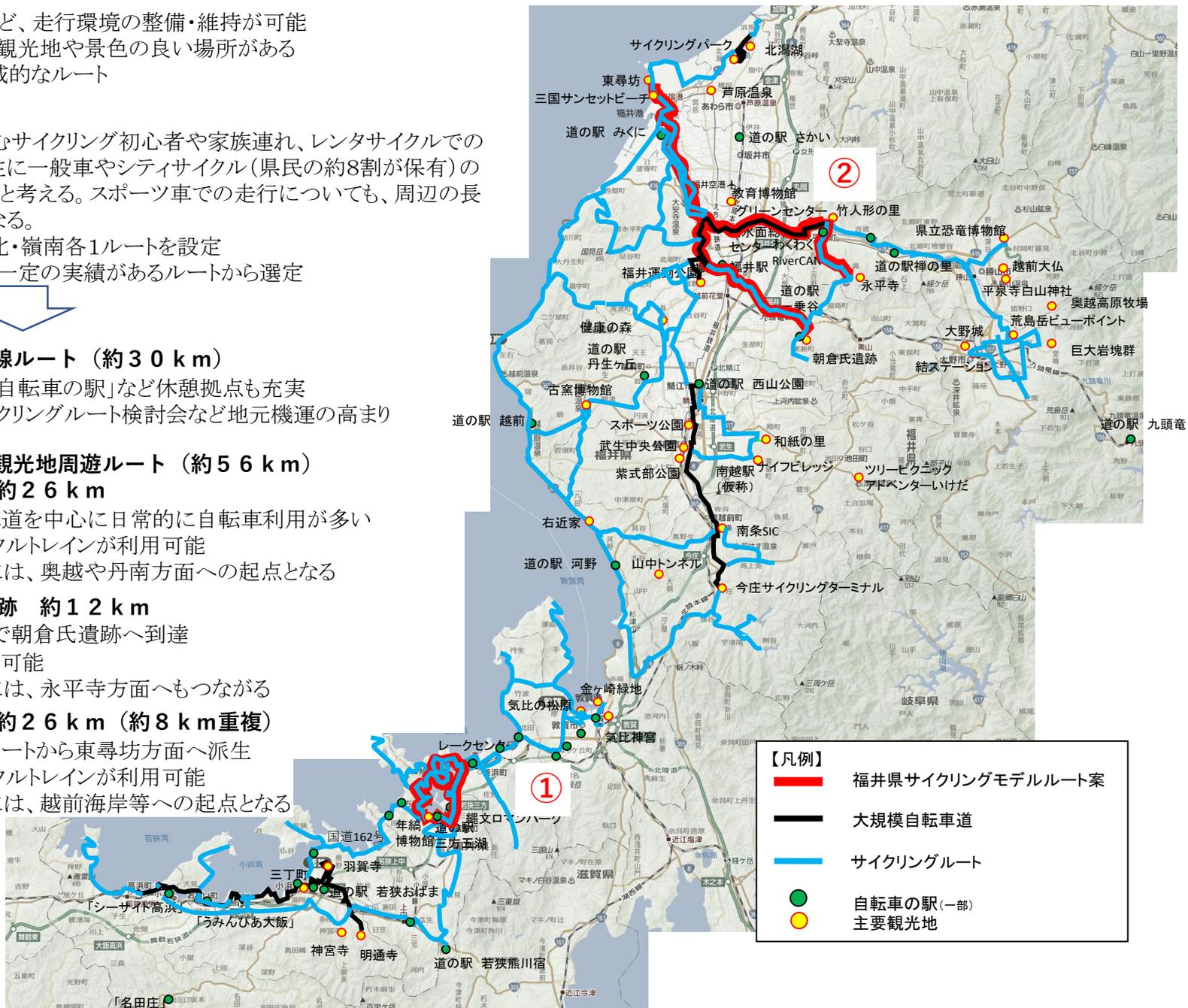
- ・永平寺福井自転車道を中心に日常的に自転車利用が多い
- ・えちぜん鉄道サイクルトレインが利用可能
- ・長距離ライド向けには、奥越や丹南方面への起点となる

○福井駅～朝倉氏遺跡 約12km

- ・ごく短時間の走行で朝倉氏遺跡へ到達
- ・JR越美北線が利用可能
- ・長距離ライド向けには、永平寺方面へもつながる

○福井駅～東尋坊 約26km (約8km重複)

- ・福井駅～永平寺ルートから東尋坊方面へ派生
- ・えちぜん鉄道サイクルトレインが利用可能
- ・長距離ライド向けには、越前海岸等への起点となる



【凡例】

- 福井県サイクリングモデルルート案
- 大規模自転車道
- サイクリングルート
- 自転車の駅(一部)
- 主要観光地